

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

2022年4月13日

旭川開発建設部
ヤマト運輸株式会社

「道の駅」を拠点とした中継輸送実証実験の取りまとめ状況

～「生産空間」の暮らしと産業を支える物流の維持に向けて～

北海道開発局旭川開発建設部とヤマト運輸株式会社は、令和3年11月に実施した、「道の駅」を拠点とした中継輸送実証実験について、結果を取りまとめましたので、お知らせします。

<道北地域での中継輸送実験による結果>

本実験は道北地域において物流事業者が連携し、幹線道路沿いに立地し休憩機能等を有する「道の駅」の特性を活かした、中継輸送実証実験により下記3つの効果を検証でき、生産空間における物流サービスの維持への貢献を確認しました。

1. 労働環境の改善

- ・中継輸送及び荷物集荷のタイミングを合わせることで、トラックドライバー1人あたりの運転時間・拘束時間が削減され、長時間運転の発生を回避するなど労働環境を改善。
- ・これにより、厚生労働省によるトラックドライバーの労働時間等の改善基準を満たし、2024年からスタートする時間外労働時間の上限規制内に改善。

2. 輸送費用の低減

- ・トラックドライバーの運転時間・拘束時間の短縮により、人件費・トラックの燃料費・高速道路の料金等を合わせた輸送費用を約45%低減。

3. 環境への負荷の軽減

- ・トラックからのCO2排出量を約50%軽減し、カーボンニュートラルへの取組に貢献可能。

【資料】

概要内容は別紙をご確認ください。

※本実験は、令和3年10月20日（水）に締結された「北海道開発局とヤマト運輸株式会社との北海道の生産空間の維持・発展に資する連携協力協定」に基づき実施。

※令和3年10月20日（水）の報道発表資料は以下 URL をご覧ください。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/as/release/a079i0000001j9b-att/a079i00000031w4.pdf>

【お問い合わせ先】

国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

道路計画課 課長 たかほし 高橋 まこと 誠志 (0166) 32-4285

道路計画課 道路調査官 はた 秦 ちひろ 地大 (0166) 32-4285

旭川開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/as/>

旭川開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit_hkd_as

ヤマト運輸株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL：03-3248-5822

